平成29年3月31日 本三みらい 第25号 第25号 平成29年3月31日 本三みらい

## 本郷第三地区 民生委員・児童委員協議会 をご紹介します

本郷第三地区民生委員・児童委員協議会は、「民生委員・児童委員」18名、「主任児童委員」 2名で活動しています。

「民生委員・児童委員」の活動内容は、普段から特に子ども、高齢の方、障害のある方などの見 守りを行っています。また、心配事の相談や福祉の情報提供を行うほか、区役所等の関連機関との パイプ役、町内会や自治会等と連携して支援体制づくりも行っています。

「主任児童委員」は、学校、区役所、児童相談所等の関係機関と連絡・調整を行い、子どもを持 つ世帯の育児不安、小中学生を持つ世帯の心配事の相談や情報提供を行っています。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、プライバシーを守り、誰もが安心して暮らせる地域福祉 の増進に努めています。

昨年の12月に民生委員と主任児童委員の一斉改選があり、新任6名、再任14名とメンバーが 若干替わりましたのでご紹介いたします。相談事等ございましたらお声がけください。

#### 〈民生委員・児童委員〉

鍛冶ヶ谷:渡辺すみ江、杉本須美子(会長)、榎本友子(会計)、

軽野幸男(副会長)、廣瀬仁子(新任)

元 大 橋:服部泰子、池永恵子、北村敦子、石黒美智子(新任)

中野町:杉浦仁(新仟)、坂本友子(新仟)

中野町(本郷富士見ヶ丘):上野富雄

若 竹 町:綿引恵子、片山榮一 港南台プリンスハイツ:加藤裕之、

今川高子(新仟)

ローレルスクエア港南台: 寺本久美子(新仟)

ラーバン港南台・若竹山手:三国隆光

#### く主任児童委員>

栄区緊急時医療情報キット

**本郷第三地区全域**:北野優子、高橋尚美

# 医療情報キット

#### 希望する方(区内在住の高齢者、障がい者、認知症等で 緊急時に情報伝達が困難な方がいる家庭)に、かかりつけ

医や持病や服薬などの医療情報および緊急連絡先を入れる

「緊急時医療情報キット」をお渡ししています。情報を記入した容器を冷蔵庫に保管していただき、 緊急搬送時や災害時に消防隊員や救急隊員が円滑に情報を収集できるようになっています。

ご希望の方は民生委員、地域ケアプラザまたは栄区役所までご連絡ください。

編集委員:水越春彦 本間和男 片山榮一 杉本須美子 服部泰子 軽野幸男

力: 栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ

連 絡 先:中野地域ケアプラザ (地域交流部門 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

# 本三みらい

発行者 村田可代子 ◇本郷第三地区 社会福祉協議会 ◇本郷第三地区 支えあいネットワーク

# 支えあいネットワーク全体会が開かれました

3月12日(日)午後1時半から、中野地域ケアプラザにおいて、関係者約80名が参加して、「28 年度本郷第三地区支えあいネットワーク全体会」が開かれました。

村田支えあいネットワーク代表、保坂連合町内会長、鳥山栄区福祉保健センター福祉保健課運営企画 係長、飯島栄区社会福祉協議会事務局長の挨拶の後、第1部として、村田代表より「第3期栄区地域福 祉保健計画(本郷第三地区地区別計画)」のとりまとめの経緯や考え方などについて報告がありました。 この計画は、平成28年度から32年度までの5年間で取り組んでいくべき課題をまとめたもので、 「顔の見えるまちづくり」をメインテーマに取組施策を示したものです。村田代表からは、1年目とし

第2部では、5つの分科会が今年度の活動を報告しました。

#### ① 訪問活動分科会(発表:三國隆光代表)

• 高齢化の加速で買物弱者は増えており、どう救っていくかが重要な課題となって いるので、送迎バスの誘致の検討や宅配制度への丁寧な入会指導が必要である。

ての活動を振り返り、今後4年間の進むべき方向を共有したいとの説明もありました。

- 緊急時医療情報キットは、緊急医療現場での認知度もあり、普及は進んでいる。
- NPO法人「お互いさまネット公田町団地」を訪問し、高齢者見守りのあるべき姿を学んだ。

今後、本郷第三地区の特性を考慮した活動を提案していく必要がある。

#### ② 災害時分科会(発表:加藤裕之代表)

- •「災害時要援護者対策を進めよう」をメインテーマに活動
- 各自治会・町内会の安否確認訓練等の取組事例や情報を共有した。
- 自治会・町内会の保有する無線機の使用チャンネルー覧を作成し、周波数の調整を行った。
- 本郷第三連合合同防災訓練に参加し、無線機送受信ゲームにより取扱方法の周知などを行った。
- ・防災研修「クロスロード・ゲーム」を実施した。(内容を2面に掲載)

#### ③ 広報分科会(発表:水越春彦代表)

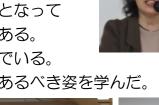
「本三みらい」を年4回発行(22号~25号を発行、22、23号は全戸配付)

#### ④ ボランティア分科会(発表:関由利子代表)

- シニアクラブへのヒアリングなどにより高齢者サロンのニーズ調査を行った。
- 横浜医療福祉センター港南の方を招き、障害理解のための研修会を開催した。
- ・ボランティア交流会を開催した。(内容を3面に掲載)

#### ⑤ 子育て関連分科会(発表:片岡喜久江代表)

- 地域の行事などを掲載した「こどもカレンダー」を年4回発行し各小学校に配付
- 連合の防災訓練に参加、ブースを設置して「防災ケーキ」の紹介・試食、「防災紙しばい」を実施した。
- 12 月に「みんなでチャレンジ! メダルへGO!!」イベントを開催した。(内容を2面に掲載) 最後に、説明全般についての質疑応答があり、全体会を締めくくりました。













# 支えあいネットワーク分科会活動のご紹介

## 子育て関連分科会 みんなでチャレンジ! メダルへGO!!

12月11日(日)、本郷小学校体育館で、第4回「みんなでチャレンジ! メダルへ GO!! 」大会を開催しました。

大会は、本郷小学校坂本校長の挨拶ではじまり、栄区さわやかスポーツ普及委員会のご協力により シニアの皆さん、父母、子どもたちが1つのグループになり、5つのグループで4競技に挑戦し点数 を競いながら頑張りました。

今回は、いつものストラックアウト、ラダーゲッター、輪投げ、ペタンクのほか、ダブルダッチ、 卓球を体験で取り入れました。

最後に手づくりのキャタピラー競技で盛り上がり、表彰式では、桜井小学校青木校長から金メダル、 子育て関連分科会片岡代表などから銀メダル、銅メダルを首に下げてもらい、子どもたちは大喜びで した。スポーツを通し、地域の人たちと三世代交流の場になり、とても有意義なスポーツ大会になり ました。







## 災害時分科会 クロスロード・ゲーム

1月11日(水)、中野地域ケアプラザにおいて「防災研修~クロスロード・ゲーム~」を、昨年度の「まち歩き・防災マップ」に続き、千葉ひろみ先生を講師にお招きして行いました。

クロスロード・ゲームは、阪神・淡路大震災で対応に当たった職員へのインタビューをもとに作成された防災教材を使って行われます。

クロスロードとは分かれ道のことで、二者択一の決断を意味します。ゲームの問題カードには、たとえば、3千人いる避難所で2千食を確保しましたが、配る・配らないのどちらを選んでも犠牲を払わなければならないというジレンマがあります。これに対して参加メンバーが多様な意見を出し合い、どうしたら最良の結論を導き出すことができるかを考えます。

今回、分科会メンバーと希望者が4チームに分かれてゲームを行いました。体験のあと、

- 価値観が異なる人と調整を取ることの難しさを感じた。実際の場では協調性も大切だと感じた。
- 災害時にすべて多数決で考えていいのかどうか。
- ・実際の町内会の活動にどう生かすことが できるのか考えていかなければいけない。 などの意見が出ました。

今後、各自治会・町内会にあったテーマで「クロスロード研修」を行っていく予定です。





### ボランテイア分科会 ボランティア交流会

1月24日(火)、中野地域ケアプラザにおいて「ボランティア交流会」を約30名の参加のもと 開催しました。これまでの交流会は各団体の活動報告が中心でしたが、今年は出席団体の交流を中心 に考えてワールドカフェという手法を用いて行いました。

テーマは「楽しくボランティア活動をするために」ということで、ボランティアをやって楽しかったこと、良かったことまたは活動して困っていること、工夫していることなどを、各テーブルごとに意見や気持ちを出し合い、お茶を飲みながらカフェにいるような気分で気楽に話していただけたのではないかと思います。

いろいろな団体の方たちと触れ合うことで新しい発見もあり参考にできることもあったと思われます。この機会をきっかけに各団体の活動が更に活発化することを願っています。







# 町内会行事のご紹介

### 鍛冶ヶ谷町内会 お楽しみ会

15年ぶりに復活した鍛冶ヶ谷子ども会のお楽しみ会が、12月10日(土)に鍛冶ヶ谷集会所で開催されました。

お楽しみ会は、小学生、中学生35名が参加し、鍛冶ケ谷市民の森愛護会の方をお招きして行われました。中学生による「火の神様」のキャンドルサービスから始まり、ゲームやクイズ、町内会長によるサンタクロース登場と2時間ほどの活動でしたが、子どもも大人も楽しいひと時を過ごしました。会場では、子ども会と愛護会が協力して作成した「竹のオーナメント」に明かりをともし、参加

者は手作りの竹キャンドルをお土産にいただきました。

今後もこのような世代交流のできる楽しいイベントが行われることを 期待していきたいと思います。



